

平成19年度

航空局関係予算決定概要

平成18年12月24日

国土交通省 航空局

平成19年度 航空局関係予算案の概要

1. 19年度予算の主要事項

単位:億円(前年度予算額)

(1) 大都市圏拠点空港整備の着実な推進

○国内航空ネットワークの機能強化及び国際競争力強化を図るため、羽田空港の再拡張事業を着実に推進します。 1,637(1,624)

(2) 航空サービス高度化のための事業の推進

○就航率の向上等既存空港の機能の高度化や空域・航空路の抜本的な再編等既存ストックを活用した航空輸送サービス高度化のための事業を推進します。 171(169)

(3) 航空安全・保安対策の強化

○空港等の耐震性強化、不法侵入対策等の航空保安対策の強化、航空管制業務の安全性向上等を実施します。 183(125)

2. 空港整備特別会計の規模

(単位:億円)

歳 入		歳 出	
一般会計より受入	1,628 (1,670)	空港整備事業	3,672 (3,721)
うち、経済成長戦略推進施策	18 (—)	大都市圏拠点空港	3,084 (3,122)
空港使用料収入	2,170 (2,124)	一般空港等	417 (430)
雑収入等	1,069 (1,146)	航空サービス高度化推進事業	171 (169)
財政投融资	771 (786)	航空安全・保安対策	183 (125)
		うち、空港等の耐震対策	22 (—)
		環境対策事業	123 (154)
		航空路整備事業	241 (233)
		離島航空事業助成	4 (19)
		空港等維持運営費等	1,354 (1,391)
		市町村交付金	62 (83)
合 計	5,638 (5,726)	合 計	5,638 (5,726)

(注) 計数は端数処理の関係で合計額に合致しない。()は前年度予算額

平成19年度予算重要施策事項表(航空局関係)

(単位:百万円)

事 項	平成18年度 予 算 額	平成19年度 内 示 額	比 較 増△減額	備 考
航空局関係				
(一般会計からの特会繰入れ)				
1. 空港整備の推進	167,011	162,835	△ 4,176	
(空港整備特別会計)				
2. 大都市圏拠点空港の整備	312,189	308,375	△ 3,814	
(1) 東京国際空港(羽田)の 再拡張事業	162,398	163,688	1,290	
(2) 東京国際空港(羽田)の 機能向上	117,725	128,759	11,034	
(3) 成田国際空港の整備	835	3,415	2,580	国直轄
(4) 関西国際空港の整備	31,167	12,337	△ 18,830	
①会社関係国費	26,500	10,500	△ 16,000	
②国直轄	4,667	1,837	△ 2,830	
	34,800	79,900	45,100	財政投融资(政保債)
3. 一般空港等の整備	42,972	41,723	△ 1,249	
4. 航空サービス高度化推進 事業	16,904	17,148	244	
5. 航空における安全・安心 の確保	12,534	18,292	5,758	
〔他 一般会計分〕	(257)	(243)	(△ 14)	
6. 空港周辺整備の促進	15,408	12,327	△ 3,081	
7. 航空路施設の整備	23,288	24,052	764	
8. 離島の航空輸送の確保	1,913	350	△ 1,563	

1. 空港の整備

(1) 大都市圏拠点空港の整備

(前年度予算)

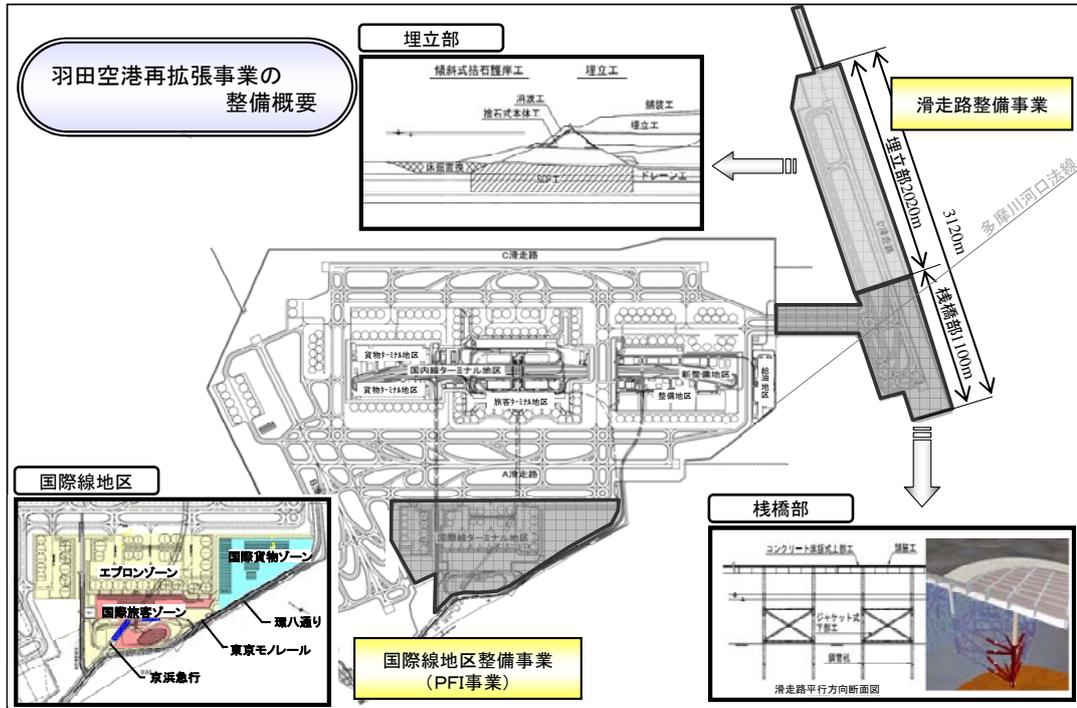
① 東京国際空港(羽田)の再拡張

百万円 百万円

事業費

163,688 (162,398)

平成19年度においては、新滑走路・連絡誘導路の整備及びエプロン、新管制塔の整備等関連事業を実施します。



(前年度予算)

② 東京国際空港(羽田)の機能向上

百万円 百万円

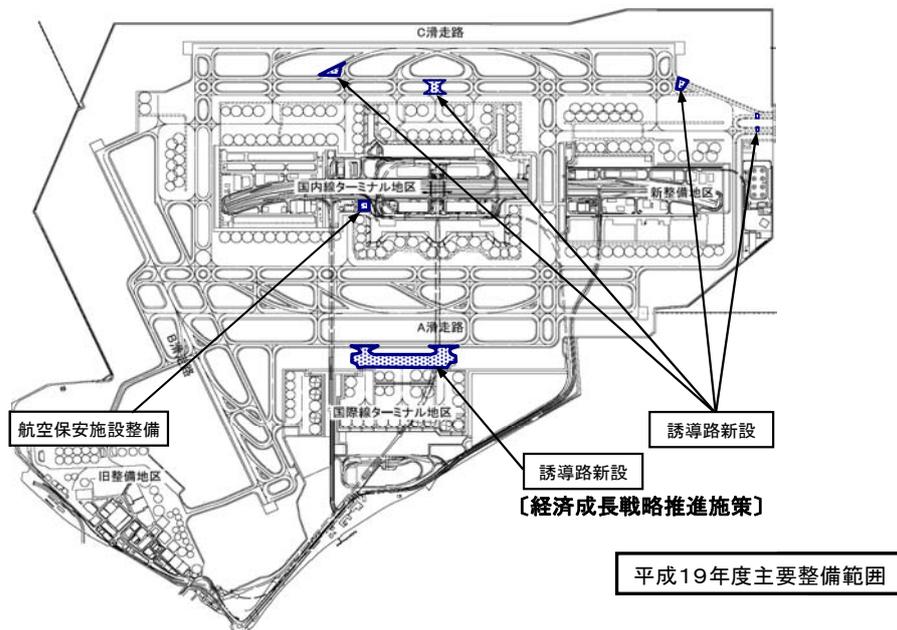
事業費

24,550 (12,566)

借入金元利償還

104,209 (105,159)

平成19年度においては、誘導路新設、航空保安施設整備等の機能向上事業を実施します。



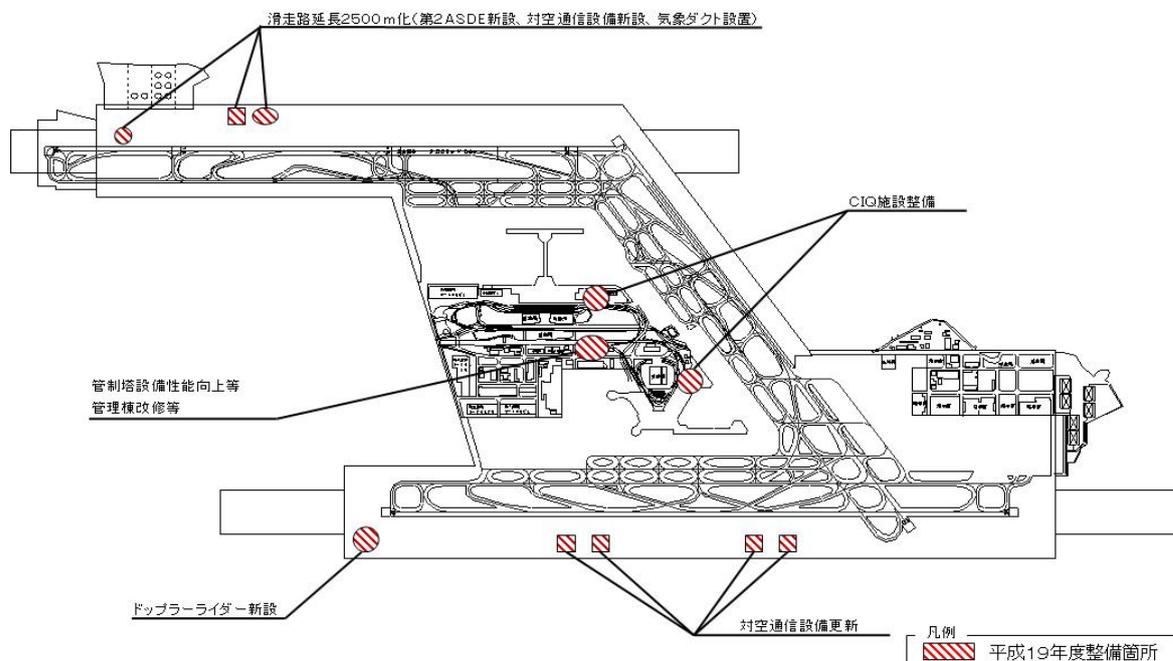
(前年度予算)

③ 成田国際空港の整備 (航空保安施設の整備等)

百万円 百万円

北伸による平行滑走路の2500m化に対応するための管制設備等の整備や運航の安全確保のための気象施設の整備等を実施します。

国直轄事業費 3,415 (835)



④ 関西国際空港の整備

平成19年度においては、関空会社の安定的な経営基盤の確立に向けて、引き続き補給金の交付等を行うとともに、一期事業として既存施設の能力増強を実施します。

(前年度予算)

百万円 百万円

・会社補給金	9,000	(9,000)
・無利子資金への是正 (政府出資金)	1,000	(5,000)
・会社等事業		
一期事業 (既存施設の能力増強)		
事業費	40億円	(64億円)
政府出資金	500	(600)
二期事業	0	(11,900)
会社関係国費合計	10,500	(26,500)
・国直轄事業費	1,837	(4,667)
国費合計	12,337	(31,167)
・財政投融资 (政保債)	79,900	(34,800)
一期事業	700	(500)
償還財源	79,200	(34,300)

(前年度予算)

(2) 一般空港等の整備

百万円 百万円
41,723 (42,972)

滑走路の延長等は、継続事業6空港の整備を着実に進め、投資効果の早期発現を図り、航空ネットワークの充実や地域の振興を図ります。

また、滑走路、誘導路等の基本施設、無線施設、航空灯火等の航空保安施設などの既存空港の施設については、その機能を保持するための更新・改良等を確実にを行います。

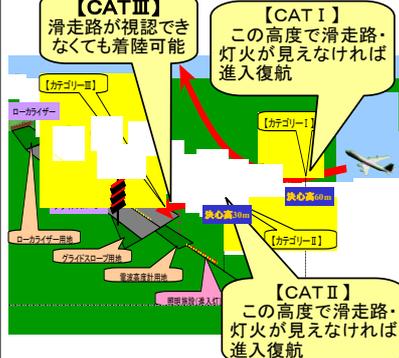
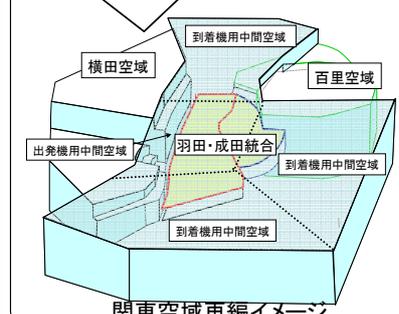
<p>滑走路の延長等</p>  <p>※神戸空港は、平成18年2月16日に開港し、19年度予算は用地取得に要する事業費の計上のみ</p>	<p>空港機能の保持</p> <p>基本施設の改良</p>  <p>【破損したPC版の取替え】</p> <p>航空保安施設の更新・改良</p>  <p>【老朽化したレーダーの交換】</p>
--	--

(前年度予算)

(3) 航空サービス高度化推進事業

百万円 百万円
17,148 (16,904)

空港の就航率向上等のための事業・調査や、需要の増大に対応した空域容量の確保のための空域・航空路の抜本的な再編等、既存ストックを活用した航空輸送サービスの高度化のための事業を推進し、我が国全体や空港後背地域における競争力強化を図ります。

<p>就航率向上</p> <p>ILSの高カテゴリー化</p> <p>【CATⅢ】滑走路が視認できなくても着陸可能</p> <p>【CATⅠ】この高度で滑走路・灯火が見えなければ進入復航</p> <p>【CATⅡ】この高度で滑走路・灯火が見えなければ進入復航</p> 	<p>空港へのアクセス改善</p> <p>バスターミナル新設</p> <p>ターミナルビル</p>  <p>バスターミナルをビル隣接地に整備</p> <p>徒歩での移動距離が短くなる</p> <p>利用者の利便性が大きく向上</p>	<p>航空交通管理機能の向上</p> <p>羽田・成田のターミナル空域を統合し、東京管制部に到着機の順位付け等を行うための中間空域を設定する関東空域再編を行う。</p>  <p>関東空域再編イメージ</p>
---	---	---

(前年度予算)

2. 航空における安全・安心の確保

百万円 百万円
18,292 (12,534)

航空における安全・安心の確保のため、地震災害に対する空港等の耐震対策の計画的な実施、不法侵入対策の強化やハイジャック検査等の航空保安対策の強化・拡充を推進します。

また、ヒューマンエラーを予防するため、滑走路運用制限を表示するシステム整備等、航空管制業務等の安全性向上を図ります。

耐震対策

アクセス道路等

管制塔・庁舎等

航空保安施設

基本施設(滑走路・誘導路・エプロン)

管制塔の耐震補強

液状化対策のための地盤改良

不法侵入対策

侵入防止策の強化・拡充



○車両侵入を物理的に阻止するため、ガードレール等の設置拡充

○フェンス、ゲートの強化及びセンサーの大幅な設置拡充

+

○飛行場保安規程ガイドラインの強化
(ガードレール設置等車両侵入対策等を追加。)

航空管制業務等の安全性の向上

○滑走路連絡運用制限等の表示システム

空港管制卓

RWY 34L CLSD

閉鎖滑走路情報表示

管制塔

レーダー室

RWY 34L CLSD 1500-1900

航空路管制卓

ID	有効期限	空港	気象	防衛庁	国際	緊急	般	空情報
CCCC	05/02/17/1500-	AU	Not available	***	NO	AV	航	空
KZE	05/02/17/1500-	AU	Not available	***	NO	AV	航	空
***	05/02/17/1500-	AU	Not available	***	NO	AV	航	空
***	05/02/17/1500-	AU	Not available	***	NO	AV	航	空

重要情報集中表示
ヒューマンエラーチェック

(前年度予算)

(一般会計)

百万円 百万円
243 (257)

航空輸送安全対策の強化

航空輸送の安全を確保するため、航空会社に対する監査体制を強化するほか、航空機安全に係る国際連携強化、操縦士等の航空身体検査基準の見直しに向けた取り組み等の予防的安全行政を推進します。

(前年度予算)

百万円 百万円
12,327 (15,408)

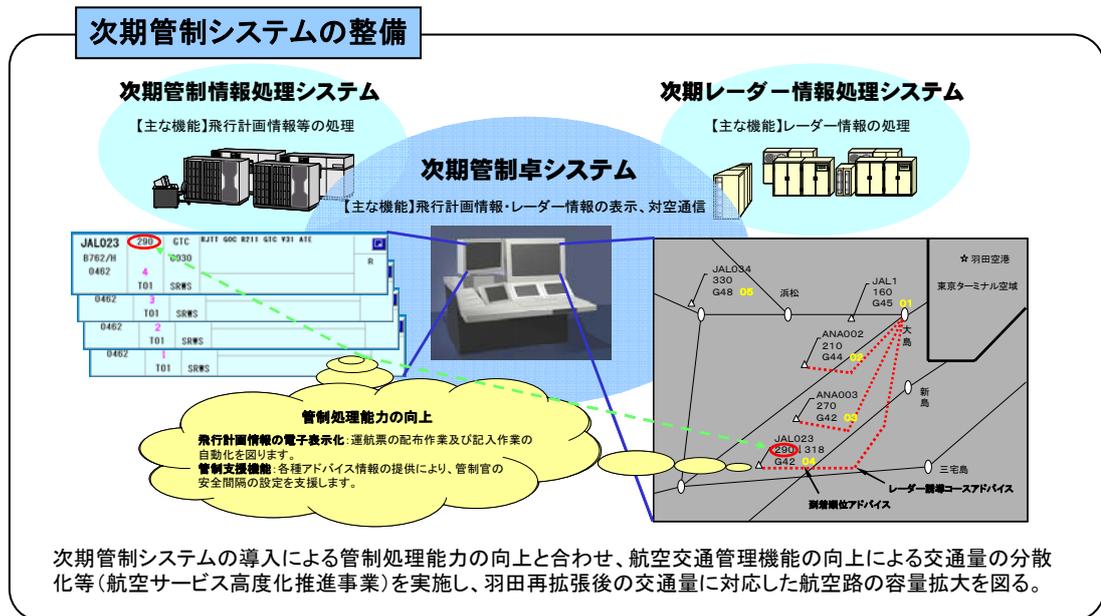
3. 空港周辺整備の促進 (住宅防音工事、移転補償等)

(前年度予算)

百万円 百万円
24,052 (23,288)

4. 航空路施設の整備

航空交通の安全確保を最優先としつつ、交通量の増大やユーザーニーズの多様化に適切に対応して、航空交通容量の拡大を図るため、次期管制システムをはじめとする次世代航空保安システムの整備を推進するとともに、現行航空保安システムの機能を保持するための整備を実施します。



(前年度予算)

百万円 百万円

5. 離島の航空輸送の確保

- ・ 航空機購入費補助金 350 (1,913)
 - (1) 運航費関係 273 (359)
 - (2) 衛星航法補強システム (MSAS) 受信機関係 77 (-)
 - (3) 機体取得関係 0 (1,554)

